

研究員 NOW！！ No.3～ 第2次授業研究を終えて ～

単元「江戸幕府と政治の安定」

「江戸時代前半は、過ごしやすい時代だったのでしょうか」という学習問題②をつくりました。将軍、大名、百姓の中から、一つの立場に与える影響を「よ・す・け」マップにまとめました。その後、三つの立場がいるグループで、「なりきり質問会議」を行い、質問や応答を繰り返す中で、他の立場に与える影響に気付くことができました。最後に、完成した「よ・す・け」マップを基に、学習問題②について自分の考えをまとめ、社会的事象の意味を多角的に考えることができました。 【田代小 林 俊宏】



単元「世界の未来と日本の役割」

日本が行っている地球温暖化対策について「シャカイングカード」にまとめ、レーダーチャートを用いて総合的に評価し、現在の社会における良さや課題について捉えました。その後、「希望ある未来」について考え、その未来に向けて、どのような取組ができるのかを、現在行われている取組を強化したり、組み合わせたりして考えました。考えた取組について、グループで検討したことで、未来に向けた取組について考えることができました。

【豊臣小 前原 憂輝】

単元「自動車をつくる工業」

電気自動車とハイブリッド車に関する資料を基に、「電気自動車の開発を優先するべきか、するべきでないか」に対し、同じ意志決定をした子ども同士で生産者と消費者の立場ごとにメリットとデメリットについて話し合いました。その後、異なる意志決定をした子ども同士で、考えを共有したり、どのような条件であれば意志決定を変えるかについて話し合ったりしました。授業の終末には、複数の立場に着目して、留保条件を考え、合理的意志決定することができました。 【栄小 清水 亮佑】





単元「陶磁器をつくるまち・瀬戸市」

「取組選択シート」を活用して、前時までに捉えた「瀬戸焼に興味をもってほしい」「これからも瀬戸焼を受け継いでいってほしい」といった願いをかなえることができる取組を複数考え、その中から一つ選択する活動を行いました。取組の特性について、2軸チャートで整理したり、選択した取組を行うとかなえることができる願いについて、チェック欄を活用して確認したりすることで、人々の願いを踏まえて選択・判断することができました。

【白鳥小 三輪 拓夢】

単元「発展してきた名古屋港」

奥田助七郎による名古屋港の開発と神野金之助による神野新田の開発についての「追Qシート」を比較しました。二つの社会的事象に共通する仕組みや人々の思いをキーワードで捉える活動を行い、その際には「これからの時代でも大切なこと」「地域の発展につながる」というキーワード化の条件を明示しました。これにより、二つの開発に共通する仕組みや人々の思いを捉えることができました。そして、キーワードを基に「これからの地域の発展のために大切なことは何だろうか」について習得した知識を活用して考えることができました。

【白水小 村瀬 浩平】



単元「個人の尊重と日本国憲法」

学習課題「(外国人参政権を基に) より良い外国人との共生についての対応策を提案しよう」を設定し、永住外国人や外国人労働者などの立場から「背景分析シート」を活用し、それぞれの立場における外国人の価値観とその背景を結び付けました。その後、それぞれの価値観を基に考えた対応策を「立場・効率と公正確認シート」を用いて「効率と公正」の観点から評価する活動を行いました。これらの活動を通して、多様な価値観を踏まえた対応策を考えることができるようになり、社会参画の在り方を考えることができました。

【若葉中 稲垣 芳章】

